



日本最南端の自然文化都市



ISHIGAKI



## 女性の視点でまちづくり提言

### 女性模擬議会

石垣市では市制施行50周年記念事業の一環として8月27日に「石垣市女性模擬市議会」を市議会議場において開催しました。同議会は、女性の声を市政に反映させ、政治に対する理解と関心を高め、女性の社会参画を促進し市政発展に役立てることを目的に開催されたもので、市内の農業、漁業、商工業、観光業、PTA、婦人会、文化、福祉等の諸団体の推薦で選ばれた18名の方々が市政にかかわる諸問題について活発に論戦を展開しました。(次頁へ続く・写真は女性議会に参加した皆さんです)

1997年 9・10月合併号  
No. 313

女性議会特集号

(平成9年10月1日発行)

### 人口と世帯数

総人口 43,306 (+ 8)

男 21,794 (- 1)

女 21,512 (+ 9)

世帯数 15,604 (+ 16)

(平成9年7月末日現在)

石垣市の情報をインターネットで発信しています  
URL <http://www.city.ishigaki.okinawa.jp>



高齢化社会・農水産・  
観光問題に質問

議会は午前十時に開会し、まず十八名の議員へ大湊市長から委嘱状が交付された後、大湊市長と石垣議長があいさつを行いました。

東川平武子さん（石垣市文化協会推薦）を仮議長として、議長、副議長の選出が行われ、議長に仲吉八重さん（石垣市女性団体ネットワーク会推薦）、副議長に荻堂久子さん（石垣市商工会推薦）を選出して議事が進められました。

一般質問では女性の立場から農林水産業や観光問題、高齢化社会における訪問看護の在り方や保健・医療・福祉センター構想、女性参画型社会、全県自由貿易、地域制度など広い分野から質問が行なわれました。

同議会は「二十一世紀を切り開く新たな価値を創造し、女性と男性が共に築く平和で豊かなまちづくり宣言」を全会一致で採択しました（四ページから一般質問概要を掲載）

クリーンセンター火入れ式  
環境重視型の施設完成

石垣市クリーンセンターの「火入れ式」が八月二十五日に行われ、行政や市議会、施工業者が参加しました。

同センターは、県内初の流動床式焼却炉として昨年四月十五日に起工式が行われ、廃棄物処理の拠点としてこのほど完成しました。

同施設では、最新技術の環境対策を施し、試運転用のごみの搬入

などが始まっており、十月末まで試運転を繰り返し十一月から本格的に稼働されることになっております。

本市では、今年の六月から市民のご理解とご協力のもとでごみの五種類分別を始めました。これは、これまでの一括処理方式を改め、分別によるごみの減容化と減量化を図ることが大きな目的であります。

同クリーンセンターは環境を最も重視する流動床式焼却炉であるためごみの分別が不可欠であります。

関係者を集めて行われた火入れ式は、大湊市長がスイッチを押して焼却炉の試運転を稼働。モニターに映し出される焼却炉の火に拍手が起りました。

この後、クリーンセンターのオペレーター室を見学。ごみが流動床方式で燃やされる過程について説明を受けた。「流動床方式」の焼却炉には、炉の中では砂を約六百度まで加熱し、空気を吹き込むことによって約九百度の高温でごみを完全燃焼します。

発がん性物質のダイオキシンは、塩素（プラスチック類）と不完全燃焼ガスが約三百度程度の温度で融合すると発生すると言われており、炉の温度管理と適切な制御、プラスチック類を燃やさないようにすることが重要であります。同センターは、ダイオキシンなどの発生を防ぐシステムになっております。

また、バグフィルターで約百五十度の排気ガスを集塵し、公害防止に万全を期している。このほか、公害防止対策の一環として排気ガスなどの計測データを事務所内に表示し、地域住民の要望に対処しております。

環境重視型施設の必要性が求められている中で最新技術の粋を集めたクリーンセンターの稼働は環境保全の立場から、注目されております。

スポ・レクおきなわ'97

11月15・16日にクロスカントリー競技



十一月に、沖縄県内において第十回全国スポーツ・レクリエーション祭（スポ・レク祭）が開催され、石垣市ではクロスカントリー競技が開催されます。

スポレクとは

近年、健康や生き甲斐に対する関心が高まり、心の豊かさや安らぎのある生活が大切にされるようになりました。

このような流れの中で、より良いたスポーツライフの創造とスポーツ・レクリエーション活動の振興を目的に開催されている同大会は健康で心豊かな市民生活の実現と

ふれあいのある住みよい郷土づくりに大きく貢献するものと考えられております。

スポーツレクリエーション（スポ・レク）は、幅広い市民に広がり、いつでも手軽に、気の合う仲間同士や家族連れで和気あいあいとした雰囲気の中で行われる競技です。スポ・レクを通して全国から参加者が集い、交流と友情の輪が広がるのが期待されています。

石垣市においては、十一月十五日にパンナ森林公園内において「クロスカントリー競技」を開催します。大会の成功へご理解とご協力をお願いいたします。



センター内オペレーター室



宝くじスポーツフェア あなたのまちに名球会がやってくる

往年のプロ野球選手と交流

石垣市では、(財)自治総合センター、沖縄県との共催で、宝くじスポーツフェア「あなたのまちに名球会がやってくる」を十月二十五日(土)と二十六日の二日間開催します。

この催しは、市制施行五十周年記念事業の一環として行われるもので、日本プロ野球名球会を招待し、野球教室、親善試合、講演会等を開催し、青少年の健全育成と長寿社会に対応した明るいまちづくり役に役立つことを目的に開催されます。

日本プロ野球名球会とは、昭和生まれのプロ野球に貢献した選手で組織され、打者が二千本安打以上、投手が二百勝以上した選手が対象となっております。

当日は、金田正一さんや門田博光選手ら往年のプロ野球選手十二名が、小・中高校生野球部員や社会人野球のメンバーと交流試合や野球教室等を行います。

また、ふれあい講演会やお楽しみジャンボ抽選会等のプログラムがあります。参加予定の名球会員のメンバーは次のとおりです。(カッコ内は野球教室の担当部門です)

- ▽金田正一(講演)▽稲尾和久(投手部門)▽高木守道(二塁手)▽松原誠(捕手・一塁手)▽柴田勲(中学生外野手)
- ▽山本浩二(投手の打撃)▽有藤通世(三塁手)▽山崎裕之(遊撃手)▽平松政次(投手)▽門田博光(小学生外野手)
- ▽大島康徳(小学生外野手)▽北別府学

(投手)

【主な日程】

十月二十五日(土)

○指導者研修会

時間・午後三時～五時

○歓迎のつどい

時間・午後六時～七時三十分

(会場はホテル日航八重山)

十月二十六日(日)

会場・総合運動公園野球場

○記念撮影

(午前九時三十分～十五分間)

○開会式(午前十時～十時三十分)

○野球教室

(午前十時三十分～十二時三十分)

○ふれあい講演会(会場・噴水広場)

午前十一時～十二時

○お楽しみジャンボ抽選会

(十二時四十五分～午後一時)

○アトラクション

(午後一時～一時三十分)

○親善試合

(午後一時三十分～三時)



胃がん検診を受けよう (受診期間：10月13日～11月18日)

実施月日	検診地区及び範囲	受付時間	検診会場
10月13日	月 大川1～294番地	午前7時～午前11時	大川公民館
10月14日	火 大川295～	午前7時～午前11時	〃
10月15日	水 登野城1～146番地	午前7時～午前11時	石垣市民会館
10月16日	木 登野城147～364番地	午前7時～午前11時	〃
10月17日	金 平久保・平野・久字良	午前7時～午前11時	平久保公民館
10月18日	土 伊原間・明石・野底	午前7時～午前11時	伊原間保健指導所
10月20日	月 登野城365～490番地	午前7時～午前11時	石垣市民会館
10月21日	火 登野城491～623番地 八島町	午前7時～午前11時	平得公民館
10月22日	水 登野城624～	午前7時～午前11時	〃
10月23日	木 平得	午前7時～午前11時	〃
10月24日	金 川平	午前7時～午前11時	川平公民館
10月25日	土 吉原	午前7時～午前9時	吉原公民館
	土 梶海	午前10時～午前11時	米原公民館
10月27日	月 桃里・伊野田	午前7時～午前11時	伊野田公民館
10月28日	火 川原・三和	午前7時～午前11時	川原公民館
	火 於茂登・開南		
10月29日	水 新川1～195番地	午前7時～午前11時	石垣市民会館

実施月日	検診地区及び範囲	受付時間	検診会場
10月30日	木 新川196～2312番地	午前7時～午前11時	石垣市民会館
	木 美崎町・浜崎町		
10月31日	金 新川2313～2471番地	午前7時～午前11時	〃
11月1日	土 名蔵	午前7時～午前9時	名蔵公民館
	土 崎枝	午前10時～午前11時	崎枝公民館
11月4日	火 真栄里	午前7時～午前11時	真栄里公民館
11月5日	水 新栄町	午前7時～午前11時	石垣市民会館
11月6日	木 石垣1～218番地	午前7時～午前11時	〃
11月7日	金 石垣219～1557番地	午前7時～午前11時	〃
11月8日	土 宮良	午前7時～午前11時	宮良公民館
11月10日	月 大浜1～121番地	午前7時～午前11時	大浜公民館
11月11日	火 大浜122～268番地	午前7時～午前11時	〃
11月12日	水 大浜269～	午前7時～午前11時	〃
11月13日	木 白保3～210番地	午前7時～午前11時	白保公民館
11月14日	金 白保211～	午前7時～午前11時	〃
11月15日	土		
11月17日	月 予備日	午前7時～午前11時	大川公民館
11月18日	火		





田村光枝 議員  
(八重山郡農業協同組合)

**農家経営の現状**

近年、八重山の農業は国際貿易自由化の影響を受けています。また、専業農家の減少、若い労働力の都市への流出、農業者の高齢化が進んでいます。さらに、サトウキビ、パイナップル、園芸作物などの価格低迷や台風災害により農家の経営基盤は危機的状況になっております。私は、このような課題解決に向けて提案します。

石垣市は本土市場から遠隔地にあることから輸送経費が高く、品質劣化など産地間の競争力に、ハンディーがあります。そのため、輸送網の整備が必要だと思っております。

**農産物の加工施設を**

農産物の付加価値を付け、農産物すべての加工施設の設置を要請します。たとえば、パインアップル、マンゴー、野菜類の集団産地を基盤として、JAに総合加工場施設を設置し、観光事業も含めた産業界間の交流を図る拠点とする。工場での加工製品は、オリジナルブランドの商品開発をし、市内、空港をはじめ全国ネットで販売を促進して下さい。

**農村の福祉対策**

農村地域での、高齢化が進む中、農村地域で老人ホームを設置し地域の共同福祉の介護事業や医療活動を促進して下さい。

**【農政課長】**

産業振興を図る上で構造的な課題は、流通体系の再編統合を図ることです。本市の輸送面での課題は輸送コストであり、生産物を出荷すると低収入となり生産資材は高価格になります。

このような構造的課題を解決するために関係機関とのコンセンサスを取得取り組んでいきます。現在の航空機の貨物取り扱い制約がある中で輸送の限界があり、輸送能力の拡大と合理化を図るためにも新石垣空港の早期実現と港湾の整備拡充が必要であります。

農産物を原料とした地場産品の育成・開発・販売の促進は積極的に取り組んでいるところであり、生産法人化することにより補助事業による加工場として計画しております。

**【畜産課長】**

農産物の販売経費や輸送運賃を低減するため、県外出荷の肉用牛に「特定地域肥育素牛導入等助成事業」を導入して県内外の購買者に輸送費の助成をしております。また、本年度から沖縄県畜産公社の「肉用牛県内保留・肥育促進特別対策事業」を活用して肥育牛に助成しております。

**【福祉課長】**

各農村地区に老人ホームを設置することは現状では厳しいと思っておりますので、市が行っている在宅福祉サービスの中でホームヘルプサー

ビス、デイサービス等の事業を大いに活用していただきたいと思います。

地域福祉活動としては、現在社会福祉協議会が十七カ所の地域で地域健康づくりふれあい事業として地域の公民館、集落センター等を利用して虚弱老人を対象に婦人会やボランティア等の協力のもとに、食事会、レクリエーション、機能訓練及び健康チェック等を行っています。



玉城和 議員  
(八重山漁業協同組合)

**不法ゴミで汚れる海岸**

私たちにとって海や漁港は働く場所、生活の場所であり、漁協婦人は青壮年部と共に海岸や漁港の清掃を行っております。

ところが、ゴミの分別収集が始まってから漁港や海浜に生ゴミや空き缶・ビン、粗大ゴミ等が不法に投棄されごみの山となっております。これは分別不備等の理由で収集出来なかった家庭のごみがこのような場所に不法に捨てられているのではないかと考えられます。

また、沿岸では空き缶やビニールなどの浮遊物が増え操業に支障をきたす場合があり、一部の遊漁やレジャーなどを楽しむ人たちのモラルが問われています。





市ではこのような状況についてどのように対処するのかお聞かせ下さい。

**先進地視察研修**

水産業に従事する私達は、漁家経営の安定と資質の向上を図る必要があります。漁協婦人部では市の助成を頂き先進地の視察研修を行いました。しかし、ここ二、三年間は、市からの助成は減額又は削減されており、自費による研修を続けておりますが、限度があります。できれば今後、先進地研修の助成を頂きますよう市当局のご意見をお聞かせ下さい。

**【環境保護課長】**

法律では、ごみの処理は管理者の責任で行うこととなっておりますが、管理者が清掃

をしても後からごみが捨てられているといつまでたつてもきれいになりません。ごみは決められた場所に捨てる場所に捨てるのが大事であり、市民と行政がそれぞれの役割を守れば、ごみ問題は解決するものと確信しております。

**【水産課長】**

赤土や生活排水、ゴミ等の対策は関係機関等と連携を密接に図りより良い環境づくりに努力しています。今後漁場の汚染防止対策に向け鋭意努力していきたいと思っております。

新たな水産業の構築に向けて観光と結びつけた、いわゆる観光漁業の推進により漁業の振興を図るため、先進地視察を実施してまいりました。今後の視察研修等を婦人部と共に研究し、効率の良い先進地研修を今後も実施していけるよう努めて参りたいと考えます。

**【土木課長】**

海岸の環境整備については建設省、各都道府県、各市町村が、毎年七月一日から三十一日までの一ヵ月間を「河川・海岸愛護月間」と定め、良好な海岸環境の創出、河川愛護思想の啓発と普及を図るため運動を展開しております。運動の一環として、七月七日に伊原間海岸と玉取海岸の清掃を行い、県は七月二十四日に名蔵海岸の清掃を行いました。

今後とも河川海岸愛護月間運動を通して広く市民に周知徹底し海岸に良好な環境を整備保全し正しく利用していきたいと考えております。



萩 堂 久 子 議員  
(石垣市商工会)

**公共工事の拡大を**

本市においては二十七％の市民が建設関連産業に従事しており、公共事業が低迷する事は、経済的にも雇用問題にも大きく影響を及ぼします。施政方針の中で赤土流出防止事業を進めておられますが、美しい海を取り戻すためにも赤土流出防止のモデル地域を指定し、より多くの事業の推進をお願いします。また、国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターを本市へ誘致できないものか当局の見解をお願いします。

建設業者にとって、工事が受注できないという事は深刻な死活問題であります。当局では入札指名にかかる業者選定にどの様な配慮をしているのかお伺いします。

**観光立市宣言**

観光立市宣言を進めている様ですが、観光客の受け入れ体制や市民のマナー、観光資源や土産品などの対策はいかがですか。また、御神崎周辺の観光開発計画について、併せておたずねします。



【農村整備課長】

赤土流出防止事業として、「土砂等流出防止管理事業」を導入し、宮良仲田地区、名蔵浦田原地区において施行します。伊野田地区の「緊急畑地帯総合整備事業」では、赤土の流出防止のため、沈砂池を造成しています。さらに、平成九年度事業として阿香花地区において「県営耕土流出防止事業」が採択され、九年度に測量設計、十年度からは沈砂池の造成、排水路の改修等を行います。

【総務部長】

地域の自然特性を生かした国際交流を推進するため、国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターの設置を関係機関に要請しているところがあります。環境庁においては、同センター構想について検討委員会を設けて、調査検討を進めているところがあります。



高 嶺 幸 子 議員  
(石垣市観光協会)

観光立市宣言に向けて

「観光立市宣言」に盛り込まれる基本姿勢は、どの様なものでしょうか。また、若者や

【検査室長】

建設工事の入札参加資格審査は二年に一回定期の資格審査を行っており、今年二月に「入札参加資格審査申請書」の受付をいたしました。その後「建設業者格付審査会」を開催して書類審査等を実施しました。

平成九・十年度の入札参加資格の建設業者数は、郡内外で合計六百一十一件が登録されており、指名業者の選定は、建設工事を依頼する主管課長が請負業者指名推薦書を指名選定委員長に提出いたします。指名選定委員会において指名基準に基づき、経営の状況や施行能力を勘案し、指名業者を選定しております。また、入札の公正さを図り入札辞退等により不利益な取扱を受けないように取決めを定め、公正な指名を行うよう努めてまいります。

【経済部長】

観光客を受け入れるためには、美しい町並み、観光客へのマナー、おみやげ品等、多くの取り組みが必要であり、市民と一体となった振興開発に努めたいと考えております。

屋良部地区は石垣市観光開発基本計画の中で景観形成拠点地区と定め、半島を一周する観光道路を整備する計画であります。

【商工課長】

観光産業は、総合産業として関連産業への波及効果が大きく、経済振興に大きな役割を果たしています。特産品の開発は、農産物や水産物等の可能性を追求して参りたいと思っております。最近の本市の特産品の状況は、地ビールやウコン入りのリキュール、石垣牛を活用したハムソーセージ・燻製等多数が生産されています。また、特産品を紹介するカタログも作製し、販路拡大を図っております。

街の美化対策

八月に一万人クリーンキャンペーンがあり、モラルの低さが話題になりました。街の美化とモラル向上対策についてお聞かせ下さい。安全なビーチやキャンプ場の整備、監視員の設置を強く望みます。また、マリンレジャーの本格的な基地を目指した整備計画等がありましたらお聞かせ下さい。

【経済部長】

「観光立市宣言」は、市民が一体となって観光振興開発に努めるための「市民的決意」を広く内外に表明し、産業の持続的発展を目指します。

街の美化対策と市民モラルの対策について

ハワイ観光に学ぶ

観光客に魅力的な事業、雇用対策、人材育成などの取組みをお聞かせ下さい。地場産業を育成するため、伝統工芸や織物、農林水産業の活性化を支援する補助事業を有効に活用することはできないでしょうか。

去る六月に、「まつりインハワイ」が当地において開催され、私も参加いたしました。石垣市は世界に誇る素晴らしい自然と景勝地がありますが、環境保全対策や案内システムの強化対策などをお聞かせ下さい。ハワイでは八重山郷友会が結成され、交流への期待が膨らんでいます。当地との交流計画がありましたらお聞かせ下さい。





は、関係する各課を交えてワーキングチームの設置を考えております。  
安全でいつでも泳げる底地ビーチの整備と安全対策については早急に準備したいと思っております。

【商工課長】

若者の雇用の場をつくるために地域産業の振興を図り、今後関係機関と連携を図る必要があると考えます。

また、職業能力開発関連施設の導入計画を進め、人材育成の推進に努めて参ります。今年度は、県の支援を受け「雇用開発プラン策定」進めてまいります。

本市の伝統工芸産業には織物の八重山上布、みんさー等があり、需要は徐々に増えています。

伝統工芸産業は歴史的・文化的特性があり、特色ある地場産業として発展するよう推進を

図ってまいります。八重山上布は協同組合の共同購買を強化し、苧麻・手績糸の安定確保を図って参ります。ミンサーは絹糸を使用した製品の開発研究を促進し、付加価値を高める必要があります。

本市では、昭和四十八年度から八重山上布やミンサー織りの講習会を開催し、担い手の育成や販路拡大に努めています。

伝統工芸・伝統織物の地場産品製造事業の補助対策は八重山上布・ミンサー技術講習育成補助等があります。また、観光施設を民間業者が実施する場合「ふるさと融資」制度の活用ができます。

【環境保護課長】

世界に誇る素晴らしい自然と景勝地を保全するため、自然緑地の保全・保護に努めたいと思います。

海岸や海域の土地利用計画をもとに自然海岸の保全に努め、河川・海域の汚染防止を推進いたします。白保から平久保半島海域の国立公園化を推進し自然環境の保全と調和を図ってまいります。

街の美化対策と市民のモラル向上対策については、現在、環境美化推進条例の検討を行っております。また学校や婦人会、老人会などと連携を図りながら環境美化意識の高揚に努めてまいります。

【企画室長】

ハワイカウアイ島との友好提携については一九六三年に姉妹都市提携が進められ、両方の議会で議決した経緯もあるようです。具体的な提携及び交流については、カウアイ島の現状等を調査し、八重山郷友会とも連携をとりつつ検討したいと思っております。

【港湾課長】

石垣港は石垣港湾計画に基き、港湾施設の整備を進めており、現在では一万トンクラスの定期大型フェリーも入港可能となっております。また、八重山圏域の物流・交流の拠点としての位置づけと台湾など諸外国をも視野に入れた発展が予想されます。新規に「新川船だまり」の計画が運輸省より承認されており、将来的には八重山圏域の海洋性レクリエーションの拠点としてマリーナ施設等の整備を図りたいと考えております。

【市長】

八重山地域の観光客は順調に伸びております。その理由は、東京及び大阪の直行便に続き二月に福岡直行便が、また七月からは名古屋直行便が就航しております。我が国の四大都市と三時間余りの時間で直接乗入れできるため非常に有利な状況になっています。

さらには「カブリコン号」のような大型クルーズ船が石垣港に乗り入れし、空と海から観光客が入ってきています。

観光地としての立地条件が五点ほどあります。第一に、雄大な自然や美しい景観。第二に豊かな文化や歴史。第三に市民が観光客を温かく迎える「心」であります。

第四に、独自の郷土食です。第五にショッピングゾーンであります。

観光協会青年部の調査によると、観光客の滞在日数は三・四日。滞在中に使用した金額では十二万円〜十七万円の金額であり、全体の観光客数で計算すると五百億円程のお金が使われており、観光産業はこのような経済効果を生み出しております。

観光は富と平和の象徴であり、内外の都市と友好関係を結ぶ大きな架け橋になります。





松井純子 議員  
(石垣市P A T連絡協議会)

行きたくなる学校づくり

新聞報道によると「沖縄県下に約千人の不登校児、学校嫌いが年々増える傾向にある」と報じられていました。学校に行けない理由として、いじめや心の弱さ、なまけ等があると思います。不登校予備軍の児童生徒を減らすには、学校施設の改善や教師との関わりが重要です。

扇風機の故障や水道や階段の欠陥、などを改善するよう学校側に訴えても、予算の関係で修理ができないと言われるとのこと。勉強についていけない時、先生方の対応の仕方でも救われる子供達も多いのです。

子供の意欲を育み、個性を重視した教育を展開するため先生方の研修会等がありましたらお願いします。

石垣市内の子供会には、市から約三万円の補助金を頂いておりますが、充分な活動ができない状況です。子供会活動の重要性に鑑み、補助金の引き上げ等、ご検討頂けるようご尽力をお願い致します。

【教育委員会総務課長】

校舎や備品などは年数とともに修繕を要する箇所が増えてまいります。その為、修繕費や備品費、原材料費等の予算を計上し改善に努めているところです。

石垣中学校の階段の滑り止めタイルがはがれていることについては、学校とも話し合っただけで検討したいと思えます。また四階の教室に水が上がらないことについては水圧を上げるための改善策を検討中です。さらに、扇風機は要望のとおり、つい先日設置を済ませました。ちなみに、最近四年間に取り替えた扇風機は、小中学校合わせて、四百五十三台、同予算額は、千二百七十一万五千円余りとなっております。

【教育委員会次長】

不登校児の現状は、三十日以上長期欠席者が平成八年度は三十八名です。その原因は



東川平武子 議員  
(石垣市文化協会)

市民文化の創造と振興

本市は、市民文化の向上につとめ、伝統文化の保護育成等に取り組んでおります。

基本的な生活習慣の欠如と無気力型の児童生徒が多いのが特徴です。

不登校児の対策としては、学校・青少年センター・適応指導教室を中心に対策を講じております。心の教育は、家庭、学校、地域社会全体で担う必要があります。教育委員会では、年間二十八本の各種研修会を実施し、心の教育に関しては、平成六・七年度に文部省指定道徳教育推進事業を展開しました。

【社会教育課長】

伝統ある地域の子供会を育成するには、人材と資金が継続的に維持できるかが課題となりますので、将来は自主的・主体的に活動できるような子供会、育成会の組織化を進めていくところです。補助金の増額は考えておりませんが自立できる子供会、育成会の組織化を目指して頑張りたいと思います。

施政方針で、市民文化の創造と振興に、

「文化協会など市民による文化活動の支援事業」等芸術文化活動の推進を示されました。

石垣市文化協会は、昨年十月「市民の英知と活力を結集、心豊かな文化薫る石垣市」をスローガンとして発足し、以来満三年を迎えようとしています。その間「石垣市総合文化祭」「戦後五十周年市民平和音楽祭」などを開催しました。行政は、当協会の活動をどのように評価しておられるか、また、文化協会の存在意義、具体的な支援策等について、御当局の見解をお願いします。

市民の活動は、市民の主体的な行為であり、決して行政の下請的なものであってはならないと思いますが、日常的な運営面への指導、イベント等の企画、立案にも常に意思の疎通



が図れるよう、行政サイドから物心両面の支援育成が必要と思われれます。

【文化課長】

石垣市には十数団体の文化団体、五十余りの舞踊研究所・民謡研究所があり、長年地道に活動を続けています。これは会員の愛着とたゆまざる努力の賜物だと思います。

石垣市文化協会は「伝統文化の継承・発展・創造・交流」を会是として活動しております。本協会の存在意義というものは、会員の一人ひとりがその趣旨を理解し自覚することにより、行政が見解を述べる性質のものではないと思います。

文化課では、補助金による支援と「大浜皓芸術文化振興基金」での支援があります。補助金による支援は石垣市文化協会、子ども劇団育成、指定文化財保存育成になされております。大浜皓芸術文化振興基金は公募制を取り、その中から審議委員会で決定された団体・個人に支給しております。

補助金は年々厳しさを増しており、振興基金は金利の低下で果実運営が危機的状況にあります。

【市史編集室長】  
市史編集室の業務は、市民の歴史への関心が行政への要請となり設置されたものであります。これまで「石垣市史」などを市民とともに編集してまいりました。

市民と行政が互いに支えあい、連携してこそより良い文化の発展があり、文化の創造がなされるものと思います。今後市民文化の向上を目指すために、資料・情報の相互の提供をはじめ企画立案のため、話し合いの場を持ち、具体的な方策を進める必要があると考

えます。

花と緑いっぱい街づくり



成底美子 議員  
(石垣市婦人連合会)

トライアスロンワールドカップ石垣島大会を契機に、島内は花いっぱい運動が一段と高まりましたが、大会が終わると花は枯れ、雑草が生い茂り、空き缶や空きビンなどが投げ捨てられています。緑と花いっぱいの街にするためには、市民一人ひとりの意識の高揚が大切だと思いますが、どのような対策をしていらいしやいますか。お伺いいたします。

道路の植栽の樹木は、初めは管理が行き届いておりますが、年月が経つと管理不十分のため雑草に覆われていますので効率的な管理をしてもらいたいと思います。植栽の管理は、どちらが責任をもっておられるかお伺い致します。

各地域では婦人会等がボランティアで植栽ますやプランターに四季折々の花を植え、管理しています。しかし、困っていることは、灌水用設備がないことです。各地域に灌水用の設備をぜひ設置して下さいますよう要望致します。

石婦連会館建設の計画

石婦連は、現在市民会館内に事務所を置いて活動しております。結成当時から会館建設の必要性を痛感し、建設基金造成のために芸能大会も開催されたようです。しかし、会館建設実現までには、ほど遠い金額です。

私達は、一日も早く会館の早期実現を心待ち致しておりますが、市当局として、婦連会館建設の計画はありまか。

【みどり推進課長】

植栽ますの樹木の設定は関係課の事業計画に基づき植栽され、その後、みどり推進課に管理委託される道路と事業課が管理する道路に分けられます。県道、国道は県が管理しております。

これからの花づくりは、自然の中で楽しく花をつくるため、多年生の球根等を中心に街路の植栽をすすすめ、屋敷内では花木等を植栽して花の鑑賞が出来るようにしていきたいと考えています。

【社会教育課長】

石婦連会館の建設については、教育行政の基本計画の中には、まだ入っておりません。婦人の自主的プログラムや事業に対して場所の提供を積極的に行っておりませんが、石婦連会館の建設は、今後の課題と受け止めております。





下地房子 議員  
(石垣市社会福祉協議会)

**ホームヘルプサービスの充実**

平成六年十二月に策定された「新ゴールドプラン」では、二十四時間体制の「巡回型」ホームヘルプサービスの早期実施がうたわれています。石垣市では在宅療養者に対していつ頃から二十四時間体制のホームヘルプサービスが提供できるのかお答えください。

平成七年度の養護老人ホーム等への入所待機者が百名を越えており、見過ごせない大きな問題ですが、施設の増設など総合的な施策について答えてください。

**訪問看護活動の強化**

健康増進課による訪問看護活動は、保健・医療活動の中心であります。定員や訪問回数を増やして、在宅福祉の強化を図る予定はないのでしょうか。保健医療活動の拠点となる「保健・医療・福祉センター」の設置とその適切な運営は、時代の要請に叶うものであります。また、病院や診療所などと連携させた在宅ケアの充実、強化を図らなければいけません。この点について考えを示して下さい。

社会福祉協議会は住民主体の福祉活動を展

開しています。行政は社協活動に対してどのようなお考えを持ち、どのような支援策を講じているのでしょうか。

**女性の自立と介護休業制度**

女性の権利を尊重し、福利増進を図るため、介護と就労を両立させる社会のシステムづくりが必要ですが、介護休業制度の活用について市長の具体策をお示し下さい。最後に「男女共同参画社会」づくりのため、男女差別のない登用が必要だと考えます。市長の人事採用についての方針をお示しください。

**【福祉課長】**

国が策定した新ゴールドプランには、二十四時間体制のホームヘルパー（巡回型）の普及を平成十一年度までに実施するよううたわれております。本市のホームヘルプ業務は、ヘルパーの人材の確保と資質向上に努めております。

現在、八重山厚生園の増改築が予定されており、特養三十床増（七十床から百床）そして、ショートステイの専用ベット数で十床の併設を県知事に要請してあります。石垣市の待機者は養護十六名、特養八十五名でそのうち、判定済者が十六名であります。

**【健康増進課長】**

石垣市老人保健福祉計画においては、在宅ケアを担当する保健婦は平成十一年度までに九名の確保を目標にしております。

保健医療サービスや福祉サービスを市民に提供するために保健・医療・福祉分野の連携が不可欠であります。センターの管理運営につきましても、社会福祉協議会等と連携しながら民生部が主体となって運営していくこ

とが望まれます。要介護老人や身体障害者等が安心して療養生活が送れるようにするため、訪問看護サービス体制の充実が求められております。現在、総合保健・医療・福祉センターの建設へ向けて作業を進めているところであり、その中に訪問看護ステーションの設置を検討中であります。

**【市民生活課長】**

石垣市社会福祉協議会が行っている福祉事業を強力に推進する上から運営費として平成九年度は三千百五十六万二千円を予算計上し、財政支援を行っております。給食サービスの実績は、延べ二千二百六十八食であり、サービスの拡充を求める意見がありますので、前向きに検討していきたいと思っております。

**【総務課長】**

本市では家族の介護を行う職員の職業生活と家庭生活の両立が図れるよう、昨年関連条例を改正の上、平成九年一月より実施しております。また、「男女共同参画社会」を形成するため、今後の女性政策の指針となる「いしがきプラン」を策定し、市民とともに施策を推進しているところであります。「女性模範議会」も、女性が政策・方針決定の場に、より関心を高め、社会参加を促進することを目的として開催するものであります。女性の地位向上の施策の一つとして各種審議会等への女性委員の登用と女性職員の管理監督職員への登用の拡大に努めているところであり、女性の持つ感性と視点を生かし施策を推進してまいりたいと思っております。





議員 八重 吉 仲  
(石垣市女性団体ネットワーク会議)

**高齢化社会 福祉行政**

二十一世紀初頭には、「超高齢社会」になることが予測され、本市の高齢化率も、平成元年の十・七％から平成九年は、十三・八％へと増加しています。

高齢化社会になると、寝たきりや痴呆、一人暮らしなど不安な要素が多々あり、在宅ケアサービスに対するニーズは増大することが予想されます。

ホームヘルプサービスは、寝たきり老人週三回、痴呆性老人週三回、虚弱老人週一回と保健福祉サービスの目標水準で現在行われております。保健婦・看護婦の人的確保の施策について伺いたいと思います。調査によると介護者の大部分が六十歳代で、精神的にも、肉体的にも負担が多く介護意欲の喪失につながっています。そのため、介護者の健康管理を考慮し、今後のスムーズな入所対策・利用日数延長についての見解をお伺いいたします。地域ボランティアについては、現在市民の自主的登録を促しておりますが、今後の登録の拡大の考え、現在までの波及効果等についてお聞かせください。

**【健康増進課長】**

急速に高齢化社会が進む中で本市でも、高齢者や痴呆性老人等の弱者に対する在宅介護を大変重視しております。平成十二年には公的介護保険が実施され、福祉におけるホームヘルプサービス、訪問看護、健康相談等の福祉サービスが重要になってくると考えます。老人福祉計画（パールプラン）に示しているとおり、平成十一年までには厚生省基準に沿った保健婦の配置を目指しております。

**【福祉課長】**

現在石垣市では、老人ホームヘルパー十三人、身体障害者ホームヘルパー八人の体制であります。ホームヘルパー整備計画（案）の資料によりますと、本市の整備計画は、平成十八年度には五十三名を目標としております。ショートステイの充実については現在、短期入所専用ベッドがないため、特別養護老人ホームの空きベッドを利用してはいますが、八重山厚生園の増改築に伴い、短期専用ベッド十床の併設を県知事に要請しております。

**【市民生活課長】**

トライアスロンワールドカップ大会が四千人の市民ボランティアの活躍で成功し、ボランティア事業の重要性が示されました。

福祉分野においてもボランティアの方々が増え、給食サービスや地域ふれあい事業を定期的に実施しており、三十七人の方々が活動し大変喜ばれております。

地域のボランティア育成について社会福祉協議会と協議をしながらボランティア事業を推進してまいりたいと思います。



**【市長】**

「保健・医療・福祉センター」は、健康都市いしがきづくりの総合拠点となる施設であり、市民が健康で暮らし、市民の命を守る中心施設となります。同センターは来年度から着工され、平成十一年度から「保健・医療・福祉」のサービス機能を一元的に取り扱うようになります。

また、市民の病気を早期に診断することを目指しており、一般的によく発生するガン等の早期発見や成人病の予防をする機能を有しております。

さらに、病気が発見された場合の指導や食事管理、栄養指導、乳幼児検診や住民検診ができます。同センターの機能強化のためには関係する医療機関やボランティア等と連携するネットワークが必要になってきます。

多くのお年寄りは家庭での在宅福祉を希望しております。在宅福祉を機能させるためには、ホームヘルパーを常に派遣する体制を築くこととショートステイが大切であります。





仲松 須磨子 議員  
(八重山郡農業協同組合)

**全県フリーゾーンへの対応**

沖縄県が進めようとしている全県フリーゾーン計画に私は反対です。フリーゾーンになると関税は撤廃され、農産物の輸入自由化が進められ、基盤の弱い農業は全滅してしまうという不安があるからです。

農家の保護育成が制度的にはっきりし、農業政策の見通しがつくまで石垣市としては県に対し反対の立場を表明してほしいと願っております。市長は全県フリーゾーン計画に賛成ですか、反対でしょうか。そして、県との話し合いはどのようになされているのでしょうかお伺いします。

**さとうきび・畜産振興**

さとうきび産業の十万吨体制実現のため、遊休地の活用や高齢化対策、後継者対策をどのように考えておられますか。さらに、土地改良賦課金の減免措置と小規模の荒蕪地改良補助事業、ポット苗普及事業の推進とポット苗購入半額補助の実施もお願いします。

四十億円産業になりつつある畜産業は石垣市の基幹産業として有望視されております。

畜産農家は、時間や生活が拘束されるため、「ヘルパー制度」を実施してもらいたいと思います。同制度の実現に向けての取り組みについてお伺いします。

**市街地バス路線**

現在のバス路線は、八重山病院前にバス停留所がないために、通院や見舞いのために病院へ行くのは大変不便利です。一日も早く八重山病院前にバス停留所を設置して路線バスを通して戴きたいと思いますがいかがでしょうか。

**【総務部長】**

新たな沖縄の振興策として、規制緩和検討委員会が、全県フリーゾーンの報告を行いました。県はフリーゾーンの範囲や地域産業への影響等について検討を重ねております。

農業、製造業で影響を受ける品目は、関税ゼロの適用対象を除外し、法人税の減税を盛り込むとの骨子になっております。

県は今後、県の素案を経済界に説明し、意見の聴取を行い、県議会、経済団体との協議を経て、十月を目標にまとめていくとのことであり、本市としても県と綿密に連携をとりながら、地場産業の振興発展につながる制度を目指して努力して参ります。

**【農政課長】**

関税がフリーとなった場合、これまで高関税率等で保護されてきたさとうきびやリンアップル、畜産等に大きな打撃を受けることになり、各作物別に対応策を講ずる必要があります。例えば、さとうきびは糖価安定制度の継続などが必要である。

本市では、さとうきびを基軸にパイナップル

プル、葉たばこ、水稲、野菜、花き、果樹、畜産等の生産振興に努めているところです。

後継者育成は重要な課題であり、平成七年度に農業後継者育成基金が創設され、青年農業者育成のための支援対策を講じております。さとうきび側枝ポット苗の実用化に向けた取り組みと援助は平成七年度から行っております。

**【農業委員会事務局長】**

遊休農地の活用については、農地パトロールや農地流動化推進員による遊休農地の掘り起こしを進めるなかで、認定農業者への農地の集積を進めております。その方策として農地銀行活動の活発化や遊休農地活用条件整備事業を積極的に活用したいと思っております。

**【農村整備課長】**

「ほ場整備事業」等各種事業の受益者の負担は年次ごとに受益者の負担を減らし平成八年度からは、国七十五％、県十六・五％、市四・五％、受益者は四・〇％の負担になっております。「かんがい排水事業」による畑かん施設工事についても、平成八年度からは、国八十％、県十五・五％、市二・五％、受益者二％とし、測量設計及び幹線工事に係る経費は全て市の負担としました。平成九年度からは「基幹水利施設管理事業」を導入し「平喜名揚水機場」の適正な維持管理を行うために、電気代、施設管理費、事務管理費等を宮良川土地改良区に補助してまいります。小規模荒蕪地改良補助事業については、小規模な地区において事業を行う場合には沖縄振興開発金融基金の融資による「非補助・農業基盤整備資金」の利用の方法があります。



【畜産課長】

ヘルパー制度はJA八重山郡が事業主体となり、農家に説明をし実施したいとのことであります。

【商工課長】

八重山病院へのバス路線運行は、これまで何度か要望がありました。が、いまだに運行ができない状況にあり、出来るだけ早い時期に路線バスの運行が出来るよう関係機関と話し合い取り組んで参りたいと考えております。

【市長】

県は二〇〇一年に全県フリートレードゾ



並里清子 議員  
(八重山漁業協同組合)

輸送経費の軽減を

全県フリーゾーン制度が導入された場合、水産物の輸入増加に拍車をかけ地域漁業は大きな打撃を受ける事が予想されます。

水産業の最も重要な課題は輸送コストです。現在、石垣―那覇間の航空運賃は一キロに対し七〇円(グロスで九十一円)です。さらに梱包経費と市場手数料を差し引くと手取りは

ソンの構想を持っているようですが、フリートレードゾーンというのは、沖縄県内に輸入される品物の関税をゼロにし、県内の企業は法人税を減額するという考え方です。

そうなるに経済は大変混乱するし、県内の産業は成り立たなくなります。県内の産業がつぶれていくような形をとるのではなく、県内の産業を保護し県民が豊かになるようにするのが本来の姿であります。県の考え方の中にAPEC(アジア太平洋経済協力関係会議)の動きがあり、二〇一〇年以降は貿易が自由になることが決められていますので、それまでの間に経済的に強い地域をつくらなければいけないということでもあります。

ほとんどなくなり、輸送経費の軽減について何らかの対策はないでしょうか。漁業者と消費者が水産物の情報を交換できるネットワークづくりや、水産物の流通の実態や島内消費の現状、水産物の消費情報の拠点となる物流センターを整備できないでしょうか。

大型マーケットへ島外から移入される海産物の実態を把握し、地元産の水産物を取り扱えるようにできないか。また、八重山ならではの製品を開発し地元産品の消費拡大を計れないか。利用価値の低い水産物に付加価値を付け、資源の有効利用と水産物の消費拡大が計れないでしょうか。

【水産課長】

東京・大阪など大手市場への直送には郡民が最も望んでいる新石垣空港の早期建設が何よりの最大の解決策であります。地域水産業を支えるためにも新空港を建設し、輸送費を軽減することであらゆる諸問題が解決できるものと考えます。

輸送経費の軽減対策に対し漁協と共に取り組み、改善策を研究したいと思っております。

尚、物流センターやネットワークの整備における水産物流通の実態、大型マーケットにおける地元水産物の取扱、特産品の開発等については今後調査研究し、対策を講じたいと思っております。



前里和江 議員  
(石垣市商工会)

商店街の活性化について

石垣市公設市場を中心とした周辺商店街は、商店街の方々の根気強い努力により、僅かながらも活気を帯びつつあります。

この商店街を地域経済の核とするために、観光客や地元の消費者がショッピングやイベント等を気軽に楽しめる雰囲気づくりをしていただきたいと思っております。そこで、公設市場二階を、イベントを通して交流できる広場として活用できるよう開放してはどうでしょうか。たとえば、芸能の夕べを開催し、出演者は、一般市民より募集し、多くの市民に参加をしてもらう。先だつては地ビール店もオープンし、商店街の活性化に弾みを付けております。当局は今後の活用方法をどのようにお考えでしょうか。見解をお伺い致します。



**公設市場周辺で青空市を**

毎週土、日に八島町で開催されている青空市は地場産業の育成という純粋な気持ちで、継続に結びつけていると思います。青空市は、駐車場が確保された商店街に移動すれば商店街の活性化にも結び付くと思いますが、場所の移動についてはどのようにお考えでしょうか。

休日や夜間の商店街の活用方法について、午後十一時頃まで仮称「屋台村通り」として活用したらどうでしょうか。商品は地元の農産物・海産物・民芸品等にこだわり、屋台では郷土料理を提供し、楽しい商店街にする。人の流れを作れば経済効果も期待できると思います。当局のお考えをお伺いいたします。

**台風時の観光客への対応**

先日は、台風十三号の影響により、空港待合室は、足止めになった約七千名の観光客で



議員 大 浜 公 江  
(石垣市観光協会)

**観光資源の整備**

世界のリゾート地ハワイの魅力は、自然景

ごった返し、狭い空間に疲れた体を休めている光景も見られました。そんな中で地元ホテル、市観光課、観光協会青年部によるおにぎりやお茶のサービスに心暖まる思いを感じてくれたと思います。台風時に足止めになった観光客に対し、休憩または宿泊の場の提供を考えてみてはどうでしょうか。行政を窓口として市民ボランティアを募集し、各家庭で受け入れや、空港への送迎について登録しておく、台風時に観光客を受け入れてもらう。このようにすると旅の思い出がで、「人情の島」としてのイメージ作りにもなると思います。当局は、台風時のこのような状況下での対応についてはどのようなお考えをお持ちでしょうか。

**【商工課長】**

商店街の活性化は公設市場を核とした取り組みが必要であり、石垣市商工会、市特産品振興会、沖縄県との連携を図りながら二階部

観美が優れていて、ビーチやヨットハーバーが整備されています。石垣島にも海水浴を楽しむ観光客が多く訪れます。観光客や市民の憩いの場として、人工ビーチやヨットハーバー等の構想についてお伺い致します。既存の観光資源を守り、新たな資源を開発して行くことはとても大切な事です。市当局は、観光資源の整備や充実をどのようにすればよいとお考えでしょうか。

**地場産業の育成 工芸の里**

ハワイのアロハウエアーの楽しさは人々の心を和ませ、世界から訪れる観光客の心をとらえています。本市にも独特なウエアーがあっ

分の有効活用について計画を進めています。今年度は、地域特産品開発推進事業の支援を行い、特産品フェアを公設市場の二階で開催し、フェア開催後はそのまま常設の特産品展示販売コーナーに切り替えていく計画です。ご提言の青空自由市の移動は行政のみで決められるものではありませんので、今後公設市場の有効活用の面からも関係諸団体と連携を図り、検討して参りたいと思います。

**【経済部長】**

台風時における観光客の対応について、市民ボランティアを募集し対応してはどうかという事です。ボランティアの対応については現実的に非常に難しい面があります。各ホテルでの台風時の取り組み状況は、各ホテルにおきまして延泊をした場合、割引でできるようになりました。また、正確な情報を観光客に提供できるシステム等検討したいと思っております。

でもよいのではないかと思えますがいかがでしょうか。また、工芸の里構想について具体的に教えて下さい。

お土産品としての織物産業は、本市の観光産業の一翼を担っておりますが、市内の観光お土産品店には、島外産の類似品が出廻り、私達の商品の販売促進を阻害しております。この事について、当局のご意見をお伺いしたいと思えます。

**【港湾課長】**

人工ビーチやヨットハーバーなどの建設構想について、総合事務局・港湾計画課と連携した石垣港の未来像を描いた基本構想があります。昨年十一月に石垣港港湾計画の改定が



運輸省より承認されましたが、その計画はコースタルリゾート基本構想を踏襲しており新港地区に緑地面積十三ヘクタール、海浜（人工ビーチ）延長は千メートル及び土地利用計画の交流拠点用地として面積二十一ヘクタールを計画されました。新川地区に「新川船だまり」を具体化するよう検討に入りたいと考えております。

【経済部長】

観光地としての個性ある街づくりについて、観光立市宣言後に行政及び関係団体等の協力を得ながら観光開発基本計画を見直して皆様の意見を参考に街並みの景観、観光施設、地場産品等々の実施計画の策定を考えております。

【商工課長】

「工芸の里」構想は、伝統工芸の振興を図り、特産品の開発を推進する拠点としての「工芸の里」基本構想を策定し、推進するものであります。基本構想策定にあたっては地元の織物、焼き物、挽物組合等の関係者との話し合いはもとより市民のご提言を参考にし、調査・研究を進めたいと考えています。

伝統的な織物を利用した石垣島独特なウェアは観光振興の面からも有効であり、新たな産業の創出につながり支援を図ってまいります。関係業者におかれましても格安で気軽に着用できるウェア開発に取り組んで戴ければ幸いです。

島外からの類似工芸品の流入や模造業者の商法に対しては石垣市商工会や市特産品振興会と連携を密にし悪質業者に対しては行政としての指導制度の検討を図ってまいります。



小底弘子 議員  
(石垣市PTA連絡協議会)

放課後の児童対策

児童の健全育成施策が重要な課題となり、昼間、保護者のいない小学校低学年児童が下校後有意義に過ごさせるような施設がありません。

昨年十二月、国の中央児童福祉審議会は、放課後、小学校低学年の子供を対象に市町村の積極的な取り組みを求める中間報告を行いました。市としてはどうお考えでしょうか。児童保育は、全国的に必要性が高まっております。現在石垣市にも「児童館」建設は急務だと思っております。現在は、無認可保育園が幼稚園児を対象に行なっておりますが、最近では、小学校低学年児童の入園希望も増えております。無認可保育園の取り組みを十分に理解していただき、ぜひ、児童保育の公立化を早急にお願いたします。市長のお考えをお聞かせ下さい。

大学建設について

八重山の特色を生かした民俗学・人間学が学べる大学を石垣市立として建設できないものでしょうか。台湾、中国、韓国などからも広く学生を募集し、アジアの拠点になる国際

的大学を建設することは、市の未来を担う子供達に大きな夢を与えることで、街が明るくなるのではないのでしょうか。市長のお考えをお聞かせ下さい。

【児童家庭課長】

児童館建設は、現在民生部内で検討しているところですが、他の公共施設の整備があり、現在優先順位をつけ、作業を進めているところです。児童館新設までのつなぎとして、県や市の既成施設等の利用も念頭に現在関係機関と話し合いを進めているところです。

公立保育所での児童保育については県内でも皆無ではありませんが、多様な保育運営の形態をめざし、検討したいと思っております。

放課後児童対策事業は、県内で十市町村が導入し運営しているところです。石垣市でも同事業を導入できるよう教育委員会や関係機関と話し合いを持つ準備を進めているところです。

【企画室長】

国際大学の設置は、教育・文化・経済の振興につながることから、国際都市形成構想に国立観光総合大学として位置づけられています。国内には本格的な観光教育機関がないことからその拠点を形成し、周辺諸国を含めた人材の養成を図り、我が国の産業の振興と本県の振興に大きく貢献できるものと考えられております。実現には相当な時間を要するとともに、様々な課題も山積しておりますが、国立大学として、検討したいと考えております。

【市長】

大学を設置する時には、その地域で良いテーマがないと大学が成り立ちません。



運輸省において、国内の数カ所に国立の観光大学をつくるという構想があります。八重山には亜熱帯の特性を生かした観光大学の立地が可能だと考えております。大学には「自然保護学」「海洋学」等の学部設置が考えられます。世界中から教授や学生が集まり、そのような人材が世界中にネットワークを形成することは可能であります。

実現可能な事でありますので、期成会等をつくって強力に誘致を進めていきたいと思っております。



議員 吉 委 子  
(石垣市文化協会)

**文化協会に援助を**

石垣市文化協会は、市民文化の振興を図り、市の文化事業にも大きく貢献していると思われまます。同協会の活動事業に対するご援助を検討し、助成金の増額に配慮して下さるようお願いいたします。

当文化協会は、「育てよう文化の心、文化のまち」を合い言葉に石垣市の各種文化活動の拠点的存在として、内外からも高い評価を受けております。

当文化協会は、発足以来三年近くになりますが、まだ事務局の場所が定まらず、不便を

かこっております。市民文化活動の拠点として、事務局の場所確保は、急を要します。ご理解を賜り市管内施設の一部を使用させて頂くよう配慮して下さい。

**【文化課長】**

石垣市文化協会への補助金の増額はむずかしいといわざるをえません。沖縄県市長会は平成七年度から三年間で補助金を10%カットするよう決定しており、本市もそれに準じることになります。

同文化協会は設立準備の際、自主的な活動



議員 南風盛 エイ子  
(石垣市婦人連合会)

**ゴミ5種類分別**

六月からゴミの分別が実施されましたが、理解が浅い市民もおり、道路の植栽ますや花だんにごみが捨てられています。現在月一回〜二回行っている「もやさないゴミ」の収集を毎週行うことは出来ませんか。

また、ダイオキシンを発生するごみを分別するよう行政指導をすることと、スーパー等で使用されているトレイを業者側が買い取るよう交渉できませんか。

をめざしていきたいとの声がありました。

事務局を文化会館内に設置できないかを検討致しました。文化会館は祖国復帰時（昭和四十七年）に「文化会館」として使用することを条件に国から譲渡された施設であり、社会教育課を文化会館に移転する際にも、様々な経緯があり、市文化協会事務局の使用については厳しいものがあり、その結果市民会館内において設置したものと思われまます。

事務局の設置については今後検討すべき課題だと思っております。

自然な熱と風に恵まれている石垣島に未来のエネルギーとして太陽熱や風力を利用する事は、出来ないでしょうか。

**【暫定空港はいつまで】**

石垣空港は、本土への直行便が増え、一日平均五十二便のジェット機が離発着するようになりました。ジェット機が離陸していく時の騒音は生活に支障があり、平真小学校でも授業の中断で学力問題に大きく影響し、住民は、騒音地獄の中で生活しています。

現空港は、暫定空港といわれますが、いつまでと考えるのか御説明をお願い致します。また、最近、石垣空港周辺地域で騒音測定をしたことがあれば、その結果を発表して下さい。住宅地での騒音の規制基準が環境庁から規定されていると思いますが、平真地区の航空機騒音をどのように考えておられますか。お聞かせ下さい。

**【環境保護課長】**

ごみ分別は、ごみの減量化という大きな目的があり、市民一人ひとりが自からの生活様



式を見直すことが重要であります。収集日の見直しは、今後の状況を見ながら検討してまいりたいと思います。

ダイオキシンを発生する物としない物を分別することは、分別が始まる前の説明会などで「袋はもやす」「容器はもやさない」ということで指導しました。これはダイオキシンを発生させるおそれのある塩素系の物質がプラスチック（容器類）に含まれているためです。トレイの回収はコーポ等が行っております。

自然の太陽熱と風を利用したエネルギーについては、平成七年度に通産省の補助を受け「新エネルギービジョン策定事業」を行いました。この事業は、平成十二年度に導入委員会を設け経済性・有効性などを再検討し、併せて自然エネルギーの導入も検討したいと考えております。

【商工課長】

太陽光発電ならびに風力発電は環境問題やエネルギー需要の増大により有効クリーンエネルギーとして近年注目されております。今後新たなエネルギー施策の取り組みを図っていききたいと考えております。

【建設部長】

新石垣空港の建設は昭和五十四年に沖縄県が設置・管理する第三種空港として実施されることとなりました。その間ジェット化の要求が強くなり、安全運行に関する制限等を行うことで小型ジェット機B-737型機が就航するようになっております。

石垣空港の暫定空港がいつまでかとの質問ですが、現飛行場施設はジェット機就航の規格に合わせて整備を行い、重量の制限などの

運行上の制限を加えることで可能となったもので、暫定空港の期限はなく、新石垣空港の建設によって現空港の機能のすべてを引き継ぐものと理解してまいります。

現空港周辺での騒音測定については、平成六年六月～七月と平成七年二月に二回沖縄県環境保健部環境保全課で実施されております。環境庁の騒音の基準がありますが石垣空港や宮古空港については離島空港であるため環境基準の設定はなされておられません。

現空港周辺地域の航空機騒音の解消は、空港の移転が有効な解決策であります。騒音が低減できるような低騒音機種を増やすように働きかけています。年々増加する乗降客や積載貨物に対応するためにも、新石垣空港の早期建設が待たれるところであります。

【市長】

最近の県内空港の整備状況は、久米島の二千メートルの滑走路など順調に進んでおり、その中で旧態依然として進展していないのが新石垣空港であります。現在の石垣空港は千五百メートルの暫定空港であり、周辺住宅地の騒音の問題は深刻であります。また、昭五十七年にオーバーラン事故がありましたし、最近では、着陸の際にタイヤがパンクする事故が発生しました。

宮良牧中地区の地主の多数の方々からは新空港建設に協力するための署名・捺印されており、また、農業を続ける方のために、近くに代替地を確保してあります。

石垣空港は市民・郡民のほとんどの方々が利用する生活空港であり、調査結果を基にして市民の合意を得て新空港問題を前進させたいと思います。



浦原 英 議員  
(石垣市社会福祉協議会)

リハビリ施設の充実を

六年前、夫が脳梗塞で倒れ、介護付き添いのため、精神的にも物質的にも負担を強いられました。本市では、平成八年度末現在、肢体不自由でリハビリが必要と思われる人の数は、六百六十九名となっております。

県立八重山病院のリハビリ施設の開設時間をさらに広げることができれば、より良いリハビリ効果を上げることができると思います。市当局は、いかがお考えでしょうか。

民生委員の活動拠点を

石垣市には、現在五十五名の民生・児童委員、主任児童委員が活動しています。しかし、活動拠点がないために、大変支障をきたしています。現状を踏まえて、当局のお考えを、お聞かせください。

私は、心配事相談所の相談業務に携わっておりますが、市民が安心して、相談が受けられるように配慮しなければなりません。しかし、相談室は、書類の山、タバコの吸い殻等があり、現状はプライバシー保護の観点からも、決して好ましくないことだと思います。



このことを相談しましたら、八月下旬に相談所がみちがえるほどきれいになり、迅速な対応に感謝申し上げます。

【民生部長】

機能回復訓練は、現在八重山病院等で開設されていますが、訓練の内容が個々の病状に大きく関係するため、専門科医師の意見により理学療法士等が障害者に合った訓練を行います。今後は機能拡充のために病院側と話し合いたいと思います。

また、計画中の「石垣市総合保健・医療・福祉センター」に機能回復訓練室を設置し、



松竹ヨシ 議員  
(石垣市女性団体ネットワーク会議)

女性の就業環境をつくる

「いしがきプラン」によると、働く意欲がありながら今は働ける状態にない理由について「子供に手がかかる」(四十二%)。働きたいが仕事が見つからない理由について「時間が合わない」(三十一・四%)と答えています。

女性が仕事ができる環境をつくるために市では技術講習等の支援事業を行っております。

身体の不自由な方々が充実した訓練が受けられるよう対処したいと思います。

民生・児童委員協議会の事務局は社会福祉協議会が担当しており、活動の拠点となる場所の確保は総合保健・医療・福祉センター内に設置を考えております。

心配ごと相談所の運営については市社会福祉協議会の事業の一つとして位置づけられており、日常生活のあらゆる相談に応じて適切な助言を行っております。相談室の場所確保についても来訪者が秘密保持の上から相談に支障のないように取り組んでまいりたいと思います。

その事業はどのようなものがありますか。また、子育て支援計画も聞かせて下さい。

女性団体ネットワーク支援

昨年八月、女性団体が相互に情報を交換し、エンパワメントを図る目的で「女性ネットワーク会議」が結成されました。今年度の事業でワークショップを開催することになっています。同事業に補助金を出していただけないでしょうか。

薬草による島おこしについて

古くから先人達が生活の中に取り入れてきた薬草が見直されてきました。「薬草石垣島ブランド」作りを目指してアロエベラ等の薬草を推奨し、栽培技術の調査研究等を行う計画や市民のコミュニティの場としての薬草公園園或いは薬草園の計画はありますか。

【商工課長】

本市では、就業を希望する女性に対する支援事業として、八重山上布及びミンサー技術



講習会、二次加工品講習会や芋麻糸手績講習会、織物デザイン講習会などを行っております。また沖縄県女性就業援助センターとの共同事業で「ワープロ・パソコン科」講習会や「観光英会話・ビジネスマナー科」の講習会を開催し、技術習得の援助と就業条件の向上を図っております。

講習会終了後は織物協同組合の組合員として加入し、織物の技術を磨いております。今後とも就業を希望する女性を支援し必要に応じた新たな事業を組み入れていきたいと思っております。

【企画室長】

女性団体がネットワークを通して情報交換を行い、エンパワメントを図ることは大変重要であります。ワークショップ事業についても本年度事業として位置づけ取り組んでい





るようであり、目的が達成できるよう期待をしております。当事業への助成については、行政の責任領域、事業効果、行政効果等を十分検討しなければなりませんので、具体的事業の内容などが決まりましたら検討したいと思います。

【農政課長】

石垣市には、古くから愛用されてきた薬草があります。近年の高齢化社会の進展に伴い、健康指向が強い中において、八重山圏域の特色である長寿地域のイメージと健康都市イメージを地域おこしの面から地域の薬草を結び付け、地域特産物として開発していく考えであります。

## 21世紀を切り開く新たな価値を創造し 女性と男性が共に築く 平和で豊かなまちづくり宣言

国際連合は、一九四五年に設立されて以来、女性の地位向上と男女平等の実現をめざす積極的な努力を続けてきました。

国際連合による第一回国際婦人年世界会議（メキシコシティ）、第二回国連婦人年の十年中間年世界会議（コペンハーゲン）、第三回国連婦人年の十年ナイロビ会議（ナイロビ）、第四回世界女性会議（北京）が開催されました。

一九七五年の第一回国際婦人年世界会議では、「平等・開発・平和」を目標として女性の地位向上のための努力を世界的規模で行うこととし、各国政府が取るべき措置のガイドラインとなる「世界行動計画」が採択されました。以来、世界的規模で行われた女性会議等の一連の動きの中で、女性をめぐる世界の動きが大きな潮流となって急速に進展してまいりました。

一九七五年の第一回国際婦人年世界会議から、ちょうど二十年後の一九九五年に第四回世界女性会議がアジア（北京）で開催されました。

北京女性会議の大きな特色の一つは、「人権」が焦点になったことで北京宣言では、「女性の権利は人権である」と高らかにうたい、女性の地位向上のキーワードとして「エンパワーメント」、すなわち女性が能力や権限など、あらゆる意味での「力」をつけることの重要性が強調されると共に、この会議を通じて女性と男性とのパートナーシップが女

性問題の解決のために欠かせないものであることを世界に示しました。

北京会議から一年後の一九九六年二月に本市においても、男女共同参画社会の実現をめざす行動計画「いしがきプラン」が策定されました。これまでの各種委員会、審議会や女性管理職への積極的な登用は、男女共同参画社会への道を拓く一歩となり、私たち女性の意識にも変化が表れております。

しかしながら、「男は仕事」、「女は家庭」に象徴される性による固定的な役割分担意識と社会慣習が、今なお根強く残っております。

憲法で保障された基本的人権の尊重、男女平等の理念を根底にすえた、家庭教育や学校教育を通して生涯教育など、あらゆる教育の場をを通して意識の変革に向けた努力の積み重ねが求められております。

二十一世紀を切り開く新たな価値を創造し、女性と男性が性別にとらわれずあらゆる分野で一人ひとりの可能性を自由に発揮し、等しく責任を担いあえる男女共同参画社会の実現をめざし、自らのエンパワーメントを高め、あらゆる政策、方針決定の場への参画を促進し家庭・職場・地域での行動計画「いしがきプラン」の積極的な推進に努め、平和で豊かなまちづくりを一層邁進することを宣言いたします。

以上、宣言する。

平成九年八月二十七日

石垣市女性模擬議会



## 女性のための技術講習会

沖縄女性就業援助センターと石垣市では、就業を希望する女性に対して能力の再開発のための技術習得の援助促進就業の拡大と就業条件の向上を図ることを目的としてワープロ講習会を開催します。

科目名：「ワープロ科」  
 期間：平成9年11月13日（木）から  
 12月12日（金）までの土・日・  
 公休日を除く毎日  
 時間：午前9時30分～午後3時30分  
 場所：石垣市公設市場2階会議室  
 定員：20名  
 機種：キャノン  
 内容：ワープロ検定3級資格取得講習  
 受付：平成9年10月6日（月）～  
 10月9日（木）  
 面接日：平成9年10月23日（木）  
 場所：石垣市公設市場2階会議室  
 （午前9時開始）  
 開校式 11月13日（木）午前10時  
 閉校式 12月12日（金）午後3時

### 【問い合わせ及び受付窓口】

石垣市経済部商工課 ☎2-1533

## 正しい自動車整備を心がけよう

「沖縄県内の自動車保有台数は、着実に増加を続け、今年7月末現在77万台となっております。

一方、自動車の増加は、交通事故や交通渋滞を増大させ、また、排出されるガス等が大気汚染や地球温暖化の要因となっているなど、深刻な社会問題として取り上げられております。

沖縄総合事務局としては、自動車使用者の保守管理意識を高揚し、自動車点検整備の確実な実施を期するため、本年9月から10月までの2か月間を重点期間として、「自動車点検整備推進運動」を展開し、自動車使用者による保守管理の徹底を一層協力で推進することとしております。県民の皆様の御理解と御協力をよろしく申し上げます。

### 【連絡先】

沖縄総合事務局運輸部陸運第二課  
 電話 866-0031（内線243.227）

## 無料法律相談のお知らせ

沖縄弁護士会では下記のとおり無料法律相談を開催します。

日常生活で発生する様々な問題でも早期に対応すればより良い解決ができます。

10月18日（土）午後1時～午後5時まで  
 （受付は午後4時まで）

10月19日（日）午前10時～午後4時まで  
 （受付は午後3時まで）

場 所：石垣市役所2階会議室

### 【問い合わせ】

沖縄弁護士会 ☎（098）833-5545  
 石垣市役所 企画室 ☎2-1243

## 就業構造基本調査へご協力を

総務庁統計局では、平成9年10月1日現在で就業構造基本調査を実施します。

就業構造基本調査は、全国及び地域別の就業・不就業の状態を明らかにすることを目的として行われます。

この調査の結果は、雇用・失業対策、福祉政策など国や地方公共団体におけるさまざまな行政政策の立案等の基礎資料として用いられます。

調査は、あらかじめ選定された世帯を対象に実施します。調査対象となった世帯には、調査員がお伺いし、調査票の記入をお願いしますので、御協力くださるようお願いいたします。

なお、調査関係者がこの調査で調べた事柄を他に漏らしたり、統計以外の目的に使うことは統計法で固く禁じられておりますので、ありのままを御記入くださるよう重ねてお願いいたします。

### 【問い合わせ】

石垣市役所 総務部企画室  
 広報統計係 ☎2-1243

## 青年海外協力隊員募集

あなたの技術・経験・情熱を発展途上国で活かしませんか。ただ今、隊員を募集中です。

応募資格：20歳から39歳までの日本国籍を持つ方

応募期間：平成9年10月15日（水）  
 ～11月30日（日）

（願書締切日11月30日）

選考試験：1次一筆記試験（技術、英語、協力隊員適性テスト）

2次／面接試験（個人面接、技術面接）  
 及び健康診断

派遣期間：原則として2年間

説明会：平成9年10月23日（木）18:30～  
 沖縄県八重山支庁

### 【問い合わせ】

国際協力事業団沖縄国際センター

☎(098)876-6000

沖縄県総務部知事公室国際交流課

☎(098)866-2479

## 10月は電波障害クリーン月間

電波障害とは、建造物、電気雑音、送配電線、不法無線局などが原因となって、テレビ・ラジオ放送の受信に障害を与えることを言います。

テレビの映りなど電波障害については「沖縄電波障害防止協議会」及び「放送局」へご相談下さい。

### 【沖縄電波障害防止協議会】

〒900-97

那覇市東町 26-29

沖縄郵政管理事務所

電気通信監理部電波課内

☎(098)865-2307